



地域の情報を発信する  
ケーブルテレビ「イツコム」

地域情報を発信している「地モトTVおかえり!」の収録現場を見学しました。収録スタジオはびりびりとした空気で緊張しました。収録はディレクターとカメラマン、アナウンサーの3人だけと少ないのですが、番組制作スタッフは10人程。ロケは、数名でいくこともありませんが、たった1人のこともあり、カメラを回しながら、音声も録音しインタビューもする、など1人何役もこなすそうです。



フリーアナウンサーの千賀絢子さんは、「アナウンサーになるには、専門の勉強をするというよりも、これはなに?という好奇心を大切に、いろいろな趣味を持ち、人として視野を広げることの方が大切です」と話してくれました。(2015.8.3)

「劇団四季」本部が  
青葉区あざみ野にありました!

創立は1953年7月14日。お芝居が好きな大学生10名でスタートし、やがてミュージカルを上演するようになり、あざみ野に芸術センターができたのは1983年で劇団四季が初めてキャッツを上演した年です。ミュージカルでは、たくさんの役者さんが出演しているように見えますが、ライオンキングは39人、キャッツは24人。舞台の主演には、入団してすぐになれる人もいれば、長年練習を積んでようやくなる人、ず

つとなれない人もいるとのこと。建物の廊下に「なれ、だれ、くずれ=去れ」「1音落とすものは、去れ」と大きく張り紙がしてあり、すごいと大きき張ったと思い、身が引き締まる思いでした。



レッスンを見せてもらえました。レッスンは研究生からベテランの人まで一緒に、毎日基礎練習を行うそうです。50人くらいの方が発声練習やバレエのレッスンを受けていました。レッスンのようすは迫力があり、みなさん真剣でこわいくらいでした。こういった基礎のレッスンはとても大事だけれど、最も大切なことは「演劇に対する情熱を忘れないこと」だそうです。(2015.8.7)

お菓子作りはたいへんな作業  
「菓子工房スグーリ」

センター南にある菓子工房スグーリ。お店には、オーナーシェフの須栗隆樹さんの工夫と、想いがたくさんつまった、おいしそうなお菓子が並んでいました。須栗さんは千種類ものケーキを作ったことがあり、ケーキは季節ごとに3分の1ほど種類が変わるそうです。



「ケーキ屋さんは素敵に見えて、女の子の夢に多いけれど、立ち仕事が多いし、材料を混ぜるなどの力

仕事が多い、地味な仕事の積み重ねです」と須栗さん。取材でケーキを作るときに工夫や秘密を知ることができました。帰りにお小遣いで買った1番人気のシュークリームはすごく美味しかったです。(2015.7.24)

地産地消の仕事を“橋直樹”さんの「野菜講座」に参加

「五味」と「五感」について実際に味をみながらお話を聞きました。五味とは、しょっぱい(塩、醤油、味噌) すっぱい(レモン、かぼす)にがい(ゴーヤ、コーヒー) あまい(砂糖、お菓子) うまみ(鰹だし、こんぶ)。五感とは、みる、におい、さわる、きく、あじわうの5つです。たとえば「におい」は味に影響しています。鼻をつまんで食べると味がわからない場合があります。いろいろな味を五感を使って食べていることがわかりました。



次にみかんジュース3種類の飲み比べをしました。ひとつは濃いみかんの味、もうひとつは少し甘みが強く、最後はとても甘くて薄いように思いました。最初のジュースがおいしいと手をあげる人が多かったのですが、それは100%のジュースでした。2つ目は果汁40%、3つめは甘味料や着色料などを組み合わせてみかんジュースの味をつかったものだそうです。パッケージに、みかんの粒々が描かれているものは100%のジュースの証拠だそうです。

また、都筑区の代表的な野菜、小松菜を生で食べました。新鮮な小松菜は苦みもなく食べやすかったです。

光合成でたくさん光を吸収した、午後3時~4時に収穫されたものが一番おいしいそうです。(2015.8.5)

「横浜市中央図書館」の裏側に潜入しました!

中央図書館は横浜で最初の図書館「横浜市図書館」として横浜公園内に建てられ、昭和二年、今の野毛山動物園の近くに「中央図書館」となりました。中央図書館には、私たち都筑区の図書館の十倍の百五十万冊の本が置いてあります。新しい本は一年に中央図書館だけで三万冊ほど入ってきます。人気のある本は一冊だけではなく何冊も買うこともあります。たとえば、「ぐりとぐら」という絵本は、全部の図書館を合わせると二百冊もおいてあります。

中央図書館の建物は特徴的で、地上五階、地下三階の六角形を組み合わせた形をしています。地下の三階全てが書庫。そして地下三階部分はとても広く、一番長い距離でなんと百メートルもあります。そこには歴史的書物や過去の新聞の資料など、数え切れないたくさんの本や資料が整理整頓され、並べられています。司書さんは「一冊一冊の本を大切に、本を読むのを楽しんで欲しいです」と話してくれました。裏側を中心に取材させてもらい、たくさんの方で図書館を運営していることを知りました。(2015.8.7)



都筑の宝物、国の重要文化財  
「関家住宅」

勝田町「関家住宅」に、特別に取材させてもらいました。母屋は築400年以上。15年前に、大規模な解体修理をしたそうで、その修理には、約3年もかかり、建築当時のようすが再現されました。建物は1本の木を自然のまま梁に使っていたり、すばらしい建築技術だということがわかりました。



全体で1万㎡もあり、昔であればひとつの町ができるくらいの広さ。つい2年半ほど前までは、ご案内いただいた関篤己さんのおとくさまが母屋に住んでいたそうで、建物が生き生きと使われていることがすごいなと思いました。都筑区の宝物としてずっと残してほしいです。(2015.8.3)

みんながしあわせになれる結婚式場  
「アニヴェルセルヒルズ横浜」

センター南の広場にいると、カラーンカラーンと結婚式場「アニヴェルセルヒルズ横浜」からのしあわせあふれる鐘の音が聞こえてきます。建物の中の大きなチャペルの、何枚ものステンドグラスと約120人座れる椅子はヨーロッパに実在した教会の調度品をゆずり受けたものです。白と青に統一された大きなチャペルは、とてもきれいで夢の中にいるような気持ちでした。チャペルの階段で行われる挙式はアニヴェルセルオリジナルで、オルガン

奏者や聖歌隊もいます。赤ちゃんづれの方には泣いてしまった場合、チャペルの横にマジックミラーの小部屋があり、その窓から式の様子が見える配慮もありました。また、お庭の花壇は、街を歩いている方が写真を撮りに来るほど、すてきに手入れされています。本当に細かく、一つひとつが、工夫されていて、幸せな気持ちになれる結婚式場でした。(2015.8.3)



みんなの秘密基地  
「鴨池公園こどもログハウス」

「鴨池公園こどもログハウス」は、幼・小・中学生が無料で遊べる施設です。2階建てですが、地下には立体迷路があり、まるで秘密基地のよう。一日中いても楽しく、ワクワクのつまった場所です。緑道沿いの自然たっぷりの中にあります。ログハウスに入ると優しいスタッフさんが出迎えてくれます。休日には1日に約400人も人が利用することもあります。そんなにたくさん人が利用しているのに、あまり怪我をしないのは、見えない部分での工夫があるからです。危険な所にはネットを付けたり、防犯カメラを設置していたり、毎日午前と午後各2回スタッフが見回りをしていたり。



ログハウスでは、春夏秋冬、季節折々楽しめる企画や工作イベントなども行われています。ログハウス全ての遊具を使いミッションを達成していく『ログミッション』という遊びもあり、一人で来ても楽しめます。(2015.8.8)

「ブルーライン快速」の秘密を探れ!

交通局運転課に行き、横浜市営地下鉄ブルーラインの快速運転について取材しました。快速列車を運行するためには、途中で前の電車を追い越す必要ですが、追い越す駅を増やすためには億単位のお金がかかります。現在の快速はもともと追い越すレーンがある新羽駅と上永谷駅を工夫しています。快速の運転本数は平日11本、休日12本。10時から16時までの時間です。ラッシュの時間帯は運転本数が多いので、快速列車はありませんが、今回の効果がどれだけあるのかをまずは研究していくそうです。



さらに新羽車両基地を見学しました。保線車両に体験乗車したり、ボルトの緩みを点検する体験作業を体験したりしました。安全運転のため毎日点検し、レールを留めているボルトの緩みはボルト部分をたたいた時の音、しかも手作業で判断します。機械で作業していると思っていたので、とても驚きました。このように、1つ1つのことを大切にしているからこそ、私たちが安心して地下鉄を利用できるのだとわかりました。(2015.8.6)

横浜市立大学医学部の学生による  
「医療のしくみ」講座

「ヨコハマ大学まつり2015」でおこなわれた、横浜市立大学医学部の学生団体YDCによる『「医療」のしくみ』講座取材しました。「YDC」とは2010年に発足した横浜市立大学医学部医学科・看護学科からなる団体のことです。YDCでは「医療」についての理解を深めて欲しいとの願いから、市内の小・中学校へ出向き、出前授業を行っています。今回の講座はその特別編です。



「医療機関の使い分けをしよう」では、具体的な症状の事例が書かれた数種類のカードを使い、「救急車」「夜間・休日診療所」「大きな病院」「クリニック・診療所」「経過観察」のどれか、この状況に適しているかを考えるゲームを班ごとに行いました。このゲームでは、一人ひとりが症状の重症度に合わせて医療機関の使い分けを行うと、本当に必要な人が必要な医療を受けることができることがわかりました。

学生さんに取材したところ、大学1年生から4年生までの授業では講義を聞き、5年生からは実際に病院に行つて患者さんに話を聞いたりもします。試験の時はとても大変で、内容も試験科目数も多いそうですが「勉強はとても楽しい」「テストが沢山あって大変だけれど、勉強して知らないことをたくさん知るのが楽しい」などと話してくれました。(2015.10.3)

港北ニュータウンエリアの  
**住まい探し**  
お任せください。

List Sotheby's INTERNATIONAL REALTY  
0800-800-2462

60席ある  
広々カフェ  
Shairly・café  
シェアリーカフェ

ランチしたり、おしゃべりしたり、お仕事したり、おごさま連れOK。気兼ねなくパーティできます。

横濱市都筑区中川1-4-1107 ☎045-530-3990

読売中高生新聞  
毎週金曜日発行  
月額780円(税込)

中学生と高校生に役立つ情報が満載の週刊新聞「読売中高生新聞」は、時事問題や国内外のニュースをわかりやすく解説します。

申し込みは 0120-4343-81 または最寄りのYDC(読売新聞販売店)へ

読売DoM新聞  
よみうりこどもしんぶん

毎週木曜日発行 月ぎめ 500円

①新聞に親しむ習慣作り  
②オールカラー20ページ  
③楽しい学習まんが  
④1週間のニュースがわかる  
⑤あの「小学館」とコラボ  
⑥役立つ英会話のページ